

ACA 事務局通信 198 (2020年9月号)

2020年8月31日発行

(グループ内でコピー・閲覧して下さい)

はじめに ACA ではグループ全体に関係するサービス（全体サービスまたはジェネラルサービスと呼んでいます）の仕事はACA事務局が担っています。事務局は一ヶ月に一度事務局会議を開いて、事務的な事柄（書籍の配布、文献の作成、ホームページによる広報など）を処理しています。

☆ 8月の事務局会議 8月16日（日）13時から川崎市多摩市民館において第252回ACA事務局会議が開催されました。新型コロナ・ウィルスの流行が収まらない状況の中でしたが、9のグループと事務局から16人の仲間が参加しました。この会議で報告されたこと、話し合われたことについて報告します。

(1) (委員会からの報告) 各地でいまだ不安な状況の中で感染防止対策に留意しつつミーティングが開かれています。財務委員会からは、ステップの本の在庫がなくなったので「ACの会」から200部を購入すること、また今度の購入でのACの会の在庫もなくなるので数か月後にACの会にステップの本の再版を要請することの報告がありました。広報委員会からこの一ヵ月で41件の連絡・問い合わせがあったとの報告がありました。文献委員会からこの一ヵ月で6のグループに文献を送ったとの報告がありました。他の委員会からの報告では特記事項はありませんでした。

(2) (催しの中止) 例年11月に開催されるACA周年記念ミーティング（行われていれば今年は23周年）、12月に開催されている一体性ワークショップについて、コロナ・ウィルスの流行が収まらず人の移動を伴う全国的な催しは行うべきでないだろうとのことで、この二つの催しは残念ながら中止とすることを決めました。

また2021年1月に宮崎で開くことを計画していたACA西アSEMBリについても中止とするとの連絡がありました。

(3) (オンラインの全国的な催しについて) 前号でも述べましたようにACAの全国的な催しについて、コロナ・ウィルスの流行状況から当分の間開催は困難だと考えられます。一方で催しは個人の回復にとってもグループの成長にとっても重要な事柄だと考えられます。そこで、セミナー等の全国的な催しをオンラインで行えないかを準備委員会で検討しました。準備委員会の報告はつぎのようなものでした。

ACAの全国的な催しとしてはアノニミティーへの配慮などをかんがみて「サテライト形式」で行うのが適切ではないか。つまり、各地に複数のサテライト会場を作り機材を設置して他のサテライト会場と zoom 等をつなぐ、というもの。サテライト会場の条件はネット接続が出来ること、機材として必要なものは、最低限パソコン、出来ればディスプレイ、外付けカメラ、マイクなど。サテライト会場以外に個人参加を認めるかどうかは検討する。さしあたっては複数のグループ、地域などで行う「スモールスタート」が良いのではないかと。

以上の報告のもとに出席メンバーで話し合い、とりあえず東日本あるいは首都圏の催しが上のような形で出来ないか、進めてみることにしました。

この件（サテライト会場、必要環境など）について、ご質問などありましたらどうぞお寄せください。



☆催しの予定

○ACA 第6回関西エリア会議 8月23日(日) 13:00~15:30 大阪市立青少年センター KOKO PLAZA

○ACA 第40回東日本グループ代表者会議 9月6日(日) 13時から、ウエスタ川越

☆献金報告 2020年7月のグループからの献金は47,000円(横須賀・浜木綿グループ4,000円、湘南グループ3,000円、ひろしま安芸グループ10,000円、松江グループ20,000円、京都グループ10,000円)でした。

☆次回の事務局会議 2020年9月の事務局会議は9月20日(日) 13時から宮前市民館(田園都市線「宮前平」10分)で開催される予定です。どうぞご参加下さい。

☆原稿募集 「回復の休日」(ユーモア)、「ハイヤーパワーのおとなうところ」(ミーティング場の写真)、「グループからの報告」などの原稿やイラストを募集しています。事務局までお送り下さい。

貴グループの皆様方の上に、ハイヤーパワーの恵みが今日も豊かにありますように。

ACA事務局 〒214-8691 登戸郵便局 私書箱12号 contact@aca-japan.org